

令和4年度みやぎ観光振興会議石巻圏域会議概要

【委員からの主な御意見】

- ① 朝、夜時間の充実を図る上で、飲食の場等で地元の人と触れ合って「なじみ」になっていただくことによる、リピート率向上に向けた仕掛けができることと良いのではないかと。
- ② 石巻地域の食の魅力を発信するための試みとして、石巻市を会場とした、全国の老舗料理店を集めた「和食の祭典」を実施予定である。
- ③ 二次交通の整備及び交通関係の人材不足の解消を目的として、自動運転の実証実験の誘致に取り組んではどうか。
- ④ 仙台空港からのインバウンド誘致を図る場合、レンタカーの充実が非常に重要である。
- ⑤ 街中での体験やワークショップ等によるマンガツーリズムの定着、それに伴う人材育成体制の構築がSDGs、滞在型観光の実現にも繋がってくるのではないかと。
- ⑥ インバウンドが再開した中で、各地域の夏祭りは非常に大きなチャンスであるため、その魅力をテーマを絞って観光客へわかりやすく発信していくことが重要。
- ⑦ 石巻南浜津波復興祈念公園が新たに整備された中で、公園から街中、周辺観光地に観光客を呼び込む工夫が必要ではないかと。
- ⑧ プランについては非常に現実的にまとまっている印象。現実性があるものを、身近なものから一つ一つ工夫しながら実現していくことが重要である。
- ⑨ 石巻圏域に多く存在する醸造施設を活用し、和食文化を観光資源の一つと捉え、回遊できるようなコースができると良いのではないかと。
- ⑩ 悪い意味でプランに引きずられることなく、状況が良い方向に転換した際にはしっかりと観光を盛り上げることができるよう、変化を恐れずにプランを実現できると良い。
- ⑪ インバウンドに関連して、日本の主要な観光地のニーズと並行して、各地域の文化等、まだ知らないところを見たいといったニーズがある。これは石巻圏域としては大きなチャンスであるため、多言語化を含む広報のツール作りが重要である。
- ⑫ 道の駅へのツーリング需要の取り込みに向けた環境整備により、愛車で訪れる観光客、その車を見て楽しむ地元住民、商売をする地元事業者の三方よしの状況が生まれている。
- ⑬ コロナ禍の中では、柔軟性をもって事業に当たるとともに、積極的に情報共有を図ることで、各事業主体が多くの要素をミックスさせて事業を実施することが重要である。
- ⑭ 無料 Wi-Fi が地域全体で利用可能であることが外国人観光客にとっては必須事項となっているため、人が集まるエリアから整備を進めることが重要である。
- ⑮ 教育旅行の誘致に取り組む上で、SDGs をプログラムにどのように組み込むことができるかという視点から、地域ごとの具体的なプランを示すことが重要である。